

教育目標 「協働して未来を創る」



めざす児童像

- ・自ら学ぶ子
- ・心身ともにたくましい子
- ・ともに生きる子

みなと

福井市湊小学校

学校だより No.3(6月3日発行)

校長 山本 智広

5月下旬には本校でクラスターが発生してしまい、保護者をはじめ地域の方々には大変ご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。現在は落ち着きを取り戻しており、通常通りの学校生活に戻りつつある状況です。

6月は、3年ぶりのプール学習、5年生の宿泊学習、授業参観等の行事がありますが、感染対策をしっかりと講じながら実施していきたいと考えていますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

交通安全教室を実施しました



5月20日(金)、毎年恒例の3年生の交通安全教室が行われました。福井警察署から2名の講師の方をお招きし、自転車に乗る前の点検の大切さや乗っているときの注意事項を教えていただいた後、実際に自転車に乗り、校庭に設けられたコースで練習をしました。

保護者の皆様におかれましては、お子さんの自転車乗りの技能をご家庭で確認した上で、実際の道路での利用が適切かどうか判断していただき、事故のないようにお願いします。

また、地域の方々におかれましては、児童が危険な乗り方をしているのを見かけた際には、「あぶないよ」と一言声かけをしていただけるとありがたいです。

中学生と一緒に公園清掃をしました

5月24日(火)、今年湊小学校を卒業した光陽中学校の1年生と湊小学校の4年生が合同で、地域の公園を美しくする清掃ボランティアを行いました。この活動の意義は公園清掃を通して、児童生徒が地域に貢献できたという実感を得ることで、自己有用感を高めることにあります。



この活動は毎年実施していますので、来年、公園清掃している子ども達の姿を見かけた際には、一言「ありがとう」と声かけしていただけるとありがたいです。

今年も湊地区の学習が始まりました

6年生の総合学習では、湊地区の歴史や現在の状況・抱えている問題点などについて学び、自分たちが住んでいる湊地区をさらによくしていくためにはどうしたらいいか等について考える学習がスタートしました。先日は、「湊塾」の今川塾長さんと「湊ビジョン推進協議会」の藤田会長さんにゲストティーチャーとしてお越しいただき、授業をしていただきました。その時の児童の感想を紹介します。

私は今川さんの話を聞いて、昔の湊小学校のことを知り、湊小の「湊」は自然に出来た港のことだと分かりました。そのため、昔の湊地区は豊かで賑わっていたのではないかと思います。

自然を利用して港を作ったのは自然にも人間にもいいものです。地面を削って港をつくるよりも、自然をそのままにして港をつくる方が私はいい考えだと思います。



私は藤田さんの話を聞いて、湊地区は福井市の中で9番目に人口が多いなど、湊地区のことをもっとよく知ることができました。

他にも湊地区の歴史なども知ることができてよかったです。

このように、子ども達はゲストティーチャーから話を聞いたり、本やインターネットで調べたりする活動を通して地域について学んでいます。一人一人が自分の住んでいる地域に向き合い、地域を知る学習に取り組むことによって、地域の一員としての自覚が芽生えてくれることを期待するとともに、やがて湊地区の発展に寄与する人材に成長していくことを願っています。

ウクライナから新しいお友達がやってきました

ウクライナから福井市に避難してきたご家族のお子様は3年1組に転入してきました。今は、午前中の2時間程度学校で日本語の勉強をしています。最近では、体育の授業や町探検にも参加し、徐々に子ども達との交流も深めています。湊小学校に転入学したのも何かのご縁です。日本にはどのくらい滞在されるのかわかりませんが、後々、日本（福井）に来てよかったなと感じられるように、子ども達と一緒にサポートしていきたいと思えます。

登下校時のマスクについて

熱中症の予防のため、本校でも登下校時はマスクを外してもよいことになっています。マスクを外しているときは、距離を十分に取り、お話ししないことになっていますので、気になる様子を見かけましたら一言声を掛けていただくとありがたいです。